

# ピープルズ・ホープ・ジャパン

## 2010 年度 事業報告

### 1. 概要

当期募金は、計画 8530 万円に対し実績 7835 万円と計画の 92%の結果となりました。この要因は主に法人募金で、世界金融危機以降の企業の業績不振から賛助会費の減額や休会となった法人様の発生によるものです。補助金は、計画 1240 万円に対し実績 791 万円と未達でした。原因はタイの「小児先天性心臓病手術の支援事業」の外務省への申請ができませんでした。今年度の収入合計は、計画 9770 万円に対し実績 8626 万円と 88%の達成率となりました。

支援活動はタイ、カンボジアは順調に推移しましたが、インドネシアの「安全な水確保事業」で1つの村で井戸採掘時にガスがでる事故による、1つの自治区での事業の遅れが出ました。その結果、支出は計画 11843万円に対し実績 11089万円でした。収支は、計画-2073 万円対して-2464 万円の支出超過となりました。

### 2. 募金活動

計画と実績は以下の通りです。

(単位:万円)

| 現金収入         | 計画   | 実績   |
|--------------|------|------|
| 法人募金         | 6600 | 5716 |
| 個人募金         | 850  | 829  |
| HOPE パートナー募金 | 230  | 243  |
| 一時寄付         | 850  | 1047 |
| 災害募金         | -    | -    |
| 計            | 8530 | 7835 |
| 商品収入         | —    | 314  |
| 合計           | 8530 | 8149 |

| 補助金収入    | 計画   | 実績  |
|----------|------|-----|
| 外務省・武蔵野市 | 1240 | 791 |

### 3. 支援活動報告(事業報告)

#### 3-1 タイ支援 (総事業費 3445 万円)

##### ①エイズ予防教育支援 (一部ベトナムでの活動を含む) (自主事業および冠事業)

2009 年度同様の活動方法で、チェンマイ県のパヤップ大学、チェンマイ大学を中心に、ピア教育者による教育を実施する一方、その教育対象範囲を低年齢層へ拡大しています。同じ教育活動方式を、ベトナムのホーチミン薬科大学でも4回に分け実施し、一応プログラムを終了させました。

##### ②子宮頸がん予防教育支援 (自主事業および冠事業)

チェンマイ県メリンおよびメタン地区にて、2007年より 3 年計画で進めており、順調に第3年度をむかえています。プログラム開始前はパップ検査受診率が 10%でしたが、2010 年 4 月時点で 58%まで上昇させ、目標であった検査率 50%以上という数値を達成しました。

##### ③HOPE パートナー教育支援 (指定基金及び自主事業)

1990 年以来継続しているプログラムで、個人のみならず、企業のサポートも得て、特に教育面での充実を図り、P HJの長期プログラムとして継続していきます。現在は 69 名の患者を 67 名の支援者に支えられています。

##### ④小児先天性心臓病手術支援 (冠事業)

今年度も昨年に引き続き 10 人の子どもの心臓病手術を支援し、命を救いました。また、担当の看護師の研修、移動検診活動も同時に実施しました。

### **3-2 インドネシア支援** (総事業費 3193 万円)

#### **①口腔衛生予防教育支援** (自主事業)

1998 年から 2003 年まで外務省 NGO 補助金事業により、東バリ地区園児・小学校児童を対象とした口腔衛生教育事業は、現地にしっかり定着しています。PHJ は 2004 年以降、本事業に従事する歯科専門家の技術レベルを維持向上させるための技術セミナーを毎年定期開催しています。2009 年はインドネシア大学などの専門家による「小児歯科」「矯正」スキルアップワークショップを開催、50 人余の参加で成果を挙げました。

#### **②バンタン州地域保健医療システム強化事業** (自主事業および冠事業)

西ジャワのバンタン州セラン県で、MDGs 目標である安全な出産と子供の健康な発育を目指して、診療所を中心とした地域医療連携システム強化事業を継続実施しています。村に滞在する助産師に対する大学病院での研修を実施し、活動拠点となる母子保健センターの建設支援も 3 棟になりました。栄養改善活動では、栄養不良児の低減達成のために、栄養カウンセリング・地元食材使用のメニュー開発・調理教室開催とあわせて、保護者に対する食育活動に力を入れています。また国立栄養教育センターで助産師、医療従事者に対する栄養治療研修を実施しました。

#### **③放射線・超音波画像診断技術教育** (自主事業)

PHJ は 2000 年から、バリ州東部の医療拠点であるギアニア病院に対して、各種画像診断装置を寄贈し、日本から画像診断技師を派遣するなどの支援を継続実施しています。2009 年度は、前年度から実施している検査技師・医師の個別評価に基づく画像診断技術の到達度評価を取り入れ、派遣技師が評価に基づき指導実施しました。

#### **④きれいな水は笑顔と健康の源事業** (日本 NGO 支援無償、自主事業)

バンタン州で実施している母子健康事業地域は、上水道がないために生活水を河川・貯水池・浅井戸等に頼っています。医療施設用の安全な水確保のために、環境に優しいソーラーパネルと高効率ポンプを利用した深井戸ならびに手掘り管井戸を 4 つの母子保健センターに設置し、給水を開始しました。

#### **⑤鳥インフルエンザ感染予防事業** (助成事業)

東バリ地区の県立病院・診療所の医師・医療従事者と地域住民を対象にした予防事業を実施しました。医療関係者に理解度テストを実施し、その結果を基にインドネシア教育局と協力して「予防」を重点に置いた活動を行うなど、「県と一体になった体制整備」を進め、特にヘルスボランティアと小学生、村人への予防啓蒙教育に力を入れました。

### **3-3 カンボジア支援(母子保健プログラム)** (総事業費 2599 万円)

#### **①母子保健 助産師トレーニング** (自主事業および冠事業)

2007 年度よりプレイベン州のプレイベン保健行政区で、地域の母子保健の鍵を握る保健センター助産師が、適切な助産サービスに必要な技能を修得することを目標に地元の州病院産婦人科で実践的トレーニングを実施してきました。今年度は、ニャックルアン保健行政区で 6 名の保健センター助産師を対象にトレーニングを実施しました。

#### **②母子保健改善プロジェクト** (日本 NGO 支援無償)

2008 年度終了した「保健センター機能強化プロジェクト」の実績や「助産師トレーニング」の実績を活かし、コンポントム州内でよりニーズの高い農村部での事業を 2008 年 1 月より開始しました。農村部の保健センターが適切な母子保健サービスが提供できるようになることを目指し、現在までの取り組みで、保健センターの母子保健サービスが向上し、妊産婦健診数や助産数も増えるなど成果がでてきました。

以上